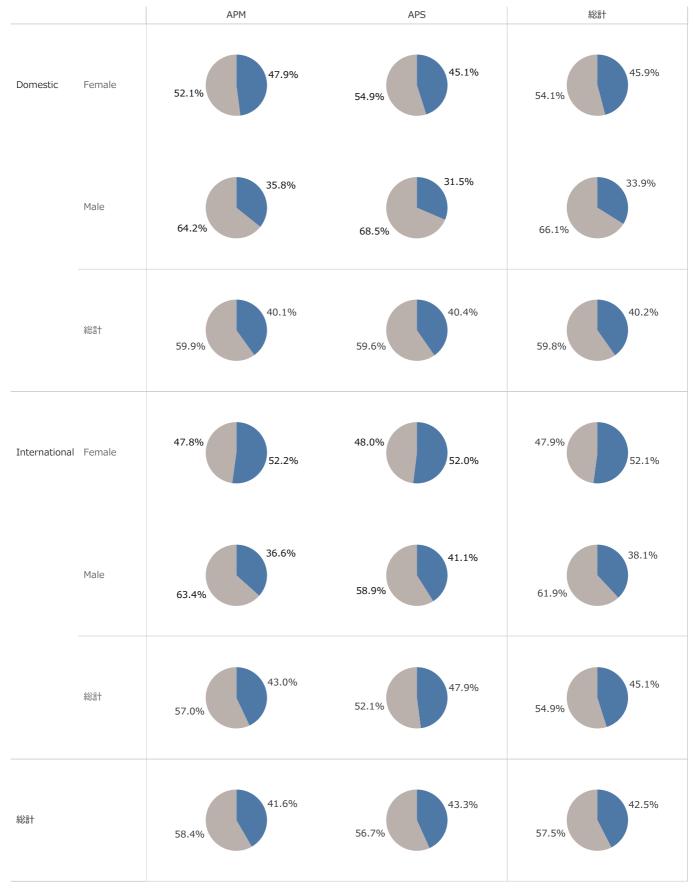
Student Life Survey 2020

Date:2020.12.23 - 2021.2.15
Targets: All undergraduate students





実施日:2020年12月~2021年1月

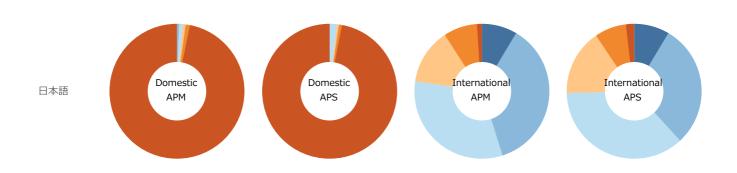
形式:オンライン調査 回答率:42.5%

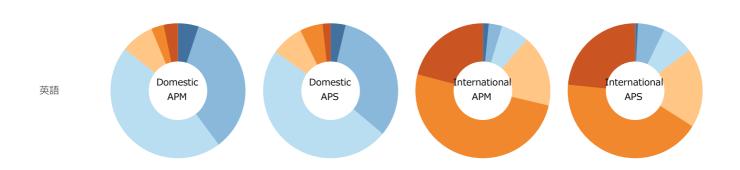
LV01:単語レベルの理解や話ができるレベル	
LV02:日常生活で短く簡単な表現が理解でき、話ができるレベル	
LV03:日常的な事柄なら、議論に参加できるレベル	
LV04:専門分野に関する事柄なら、議論に参加できるレベル	
LV05:様々なテーマで、高度な表現や長い文章が理解できるレベル	
LV06:母語/または母語レベル	

反対言語のレベル

あなたの語学の使用レベルに関して、当てはまるものを選んでください。

Domestic International APM APS APM APS





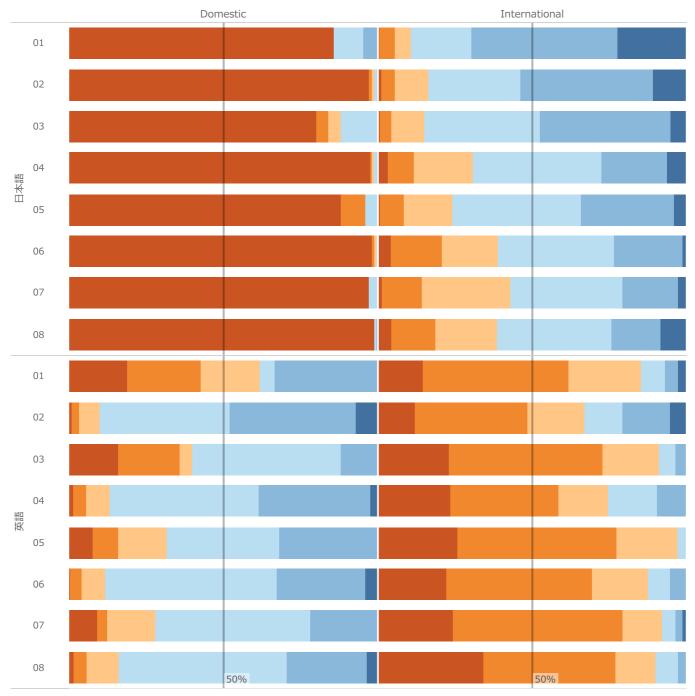
国内学生、国際学生のそれぞれの反対言語のレベル 国内学生のうちレベル4*以上の英語力があると回答した率は14.8% 国際学生のうちレベル4*以上の日本語力があると回答した率は23.9%で国際学生のほうが高い

*レベル4:専門分野に関する事柄なら議論に参加できる

LV01:単語レベルの理解や話ができるレベル	
LV02:日常生活で短く簡単な表現が理解でき、話ができるレベル	
LV03:日常的な事柄なら、議論に参加できるレベル	
LV04:専門分野に関する事柄なら、議論に参加できるレベル	
LV05:様々なテーマで、高度な表現や長い文章が理解できるレベル	
LV06:母語/または母語レベル	

反対言語のレベル

あなたの語学の使用レベルに関して、当てはまるものを選んでください。(セメスター別)

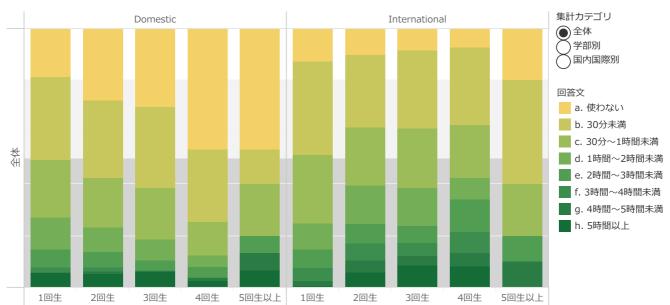


国内学生の奇数セメスターは秋入学者、偶数セメスターは春入学者 偶数セメスター(春入学者)のセメスター進行に伴う変化を見ると、国内学生、国際学生共に回生進行と共にレベルは上がっている。

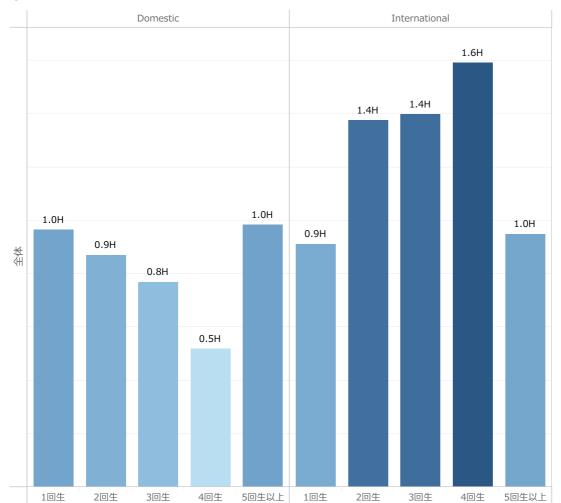
授業外での反対言語の使用時間

現在、授業以外の時間の会話で、反対言語を1日平均どれくらい使用していますか。 日本語基準の学生は英語、英語基準の学生は日本語について答えてください。





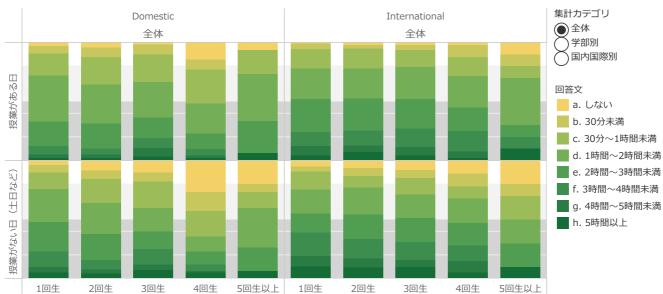
使用時間 (以下で換算; a:0時間, b:0.25時間, c:0.75時間, d:1.5時間, e:2.5時間, f:3.5時間, g:4.5時間, h:5時間)



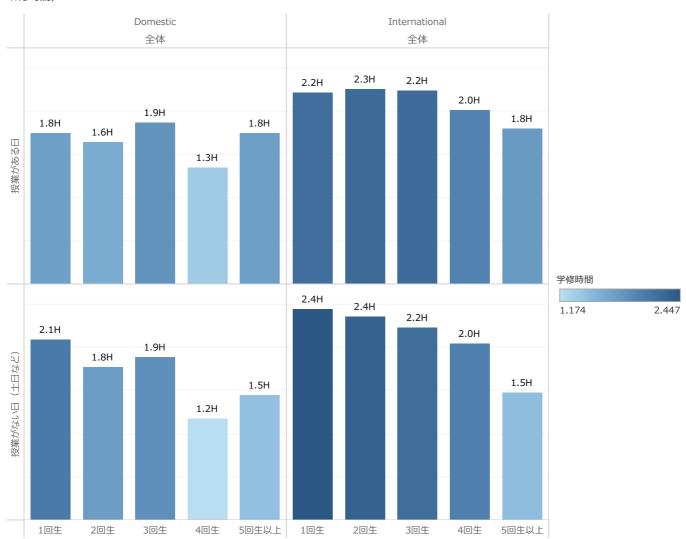
国内学生の反対言語使用時間は回生の進行とともに短くなっていく(特にAPSの4回生が低い) 国際学生の反対言語使用時間は回生進行と共に長くなる(特にAPM)

学習時間 セメスター中(現在)、授業以外に1日平均どのくらい学修をしていますか? 以下から、それぞれ一つだけ選んでください





(以下で換算; a:0時間, b:0.25時間, c:0.75時間, d:1.5時間, e:2.5時間, f:3.5時間, g:4.5時間, h:5時間)



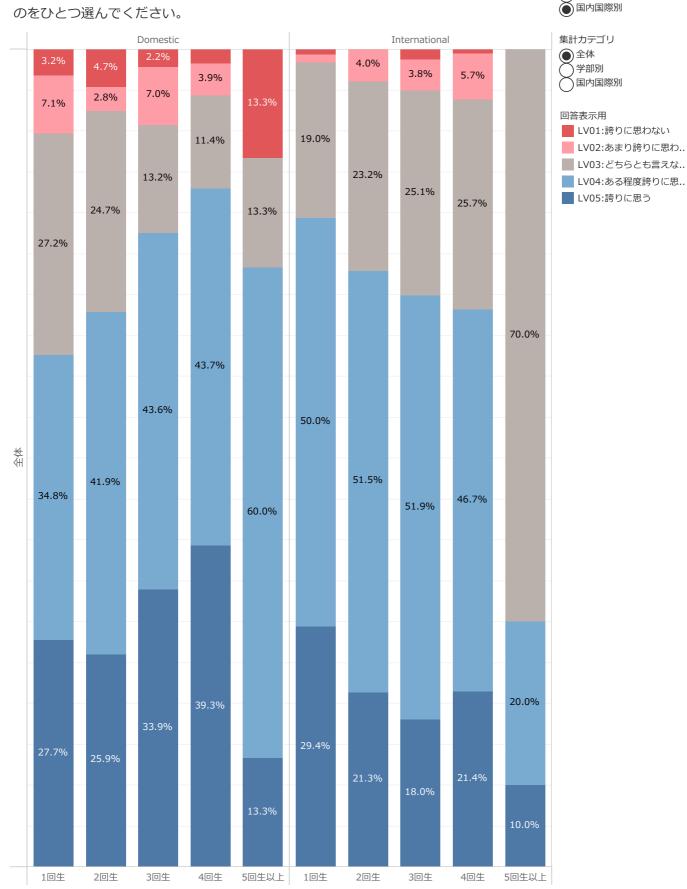
学修時間は国内学生よりも国際学生が長い。学部間の違いは1回生~3回生の間はあまり見られない。

満足度
APUに在籍していることをどの程度誇りに思いますか?あなたの気持ちとして、近いものをひとつ選んでください。

集計カテゴリ大

)全体

〉 学部別



APUへの満足度は回生が上がるごとに上昇し、4回生時は75.9%がAPUに在籍していることに誇りを持っている。ただし、5回生以上になると満足度が下がる。

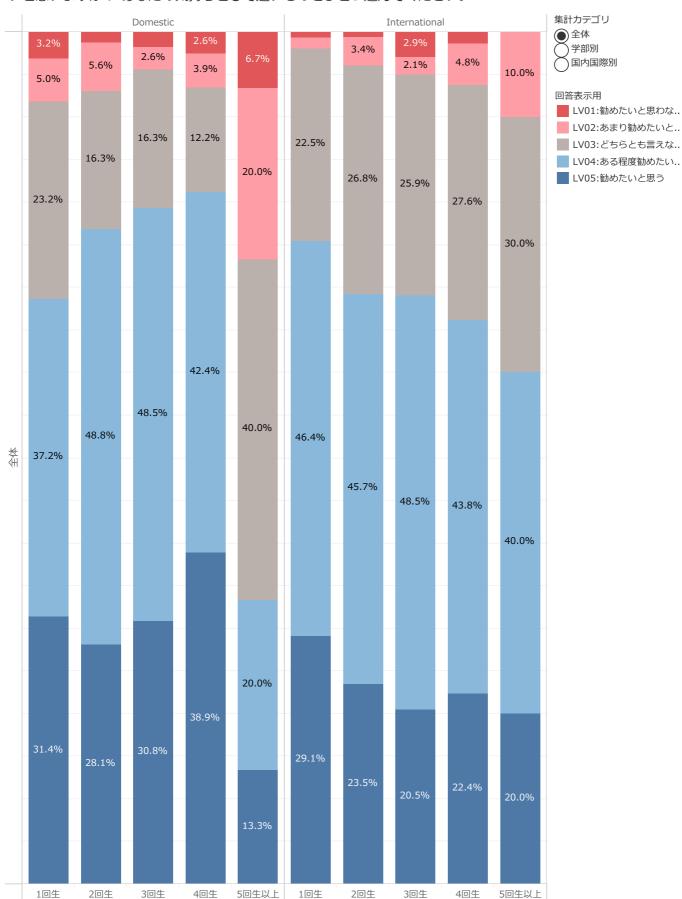
満足度(2) APUを他人に勧めるかどうか

APUの環境を活用できそうな知人や後輩(APU生以外)に、APU入学をどの程度勧めたいと思いますか? あなたの気持ちとして近いものをひとつ選んでください。

集計カテゴリ大

国内国際別

全体 学部別



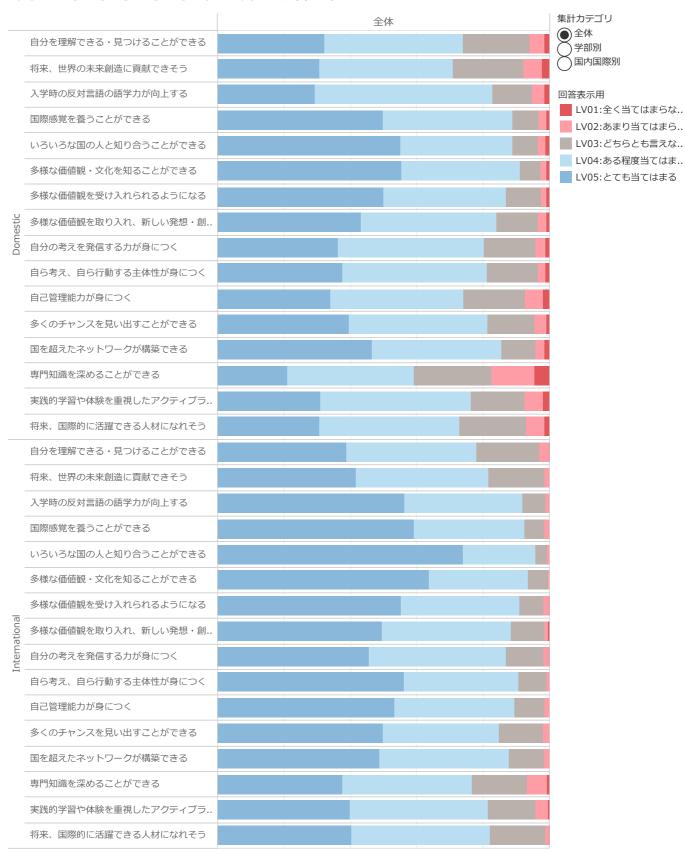
APUの環境に対する評価

APUの環境について、あてはまるものを選択してください。 あなたができている、できていないに関わらず答えてください。 集計カテゴリ大

国内国際別

学部別 √国内国際別

)全体 く学部別

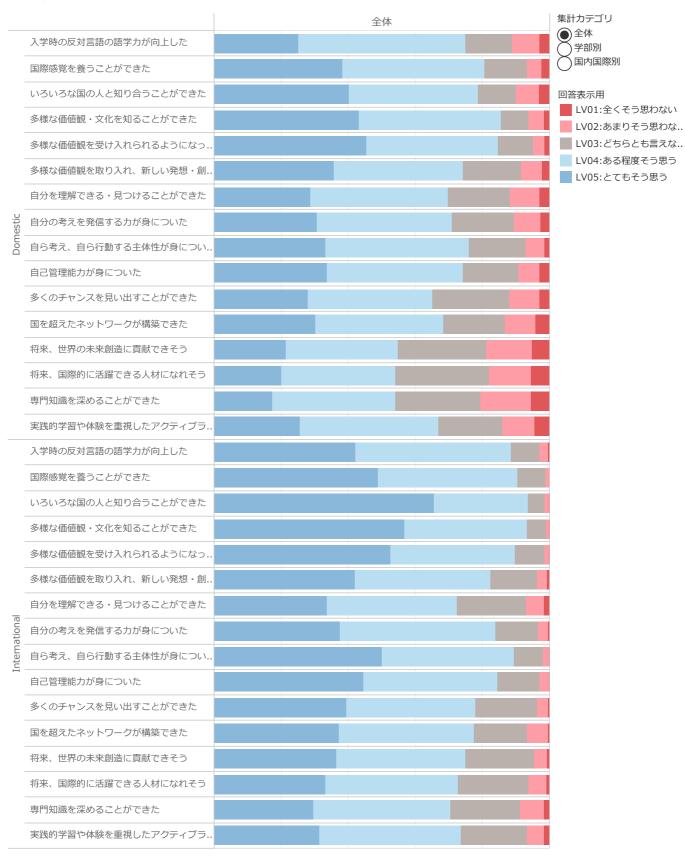


APUの環境に対する評価において「いろいろな国の人と知り合うことができる」「多様な価値観・文化を知ることがで きる」といった国際的な環境に対する評価が高い。一方、「専門知識を深めることができる」に対する評価が他の項目 に比べ低い

成長実感

APUでの学生生活を通じて、現在、あなた自身は以下のことをどの程度できていると思いますか?





自分自身の成長に対する評価はAPUの環境に対する評価と同じ傾向が見られ、国際感覚に対する成長実感は高く、専門知識の深化への成長実感は他の要素に比べ低い。「将来世界の未来創造に貢献できそう」「将来国際的に活躍できる人材になれそう」といった未来への展望はやや低い。

成長実感(2)回生ごとの変化

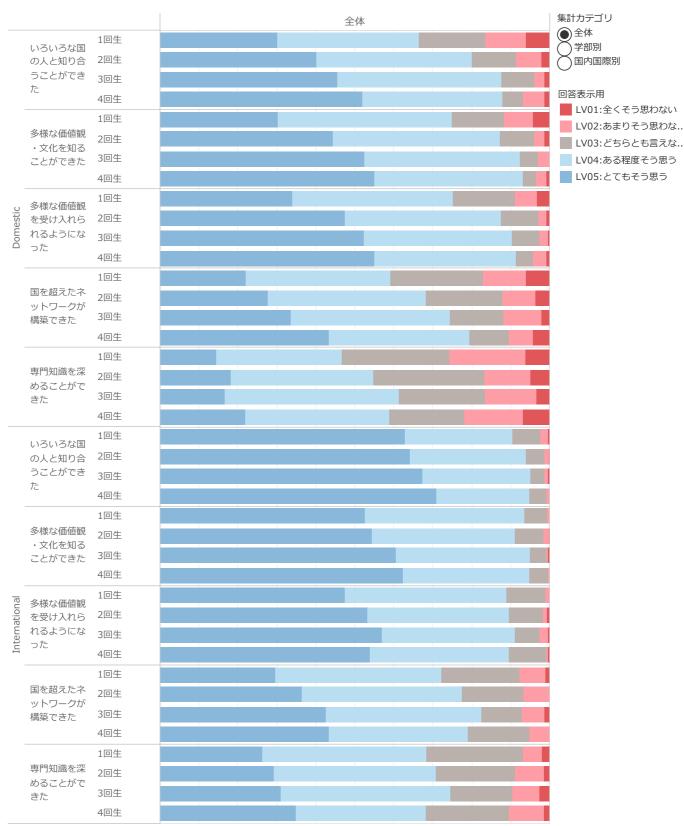
APUでの学生生活を通じて、現在、あなた自身は以下のことをどの程度できていると思 いますか?

集計カテゴリ大

■ 国内国際別

)国内国際別

全体 学部別



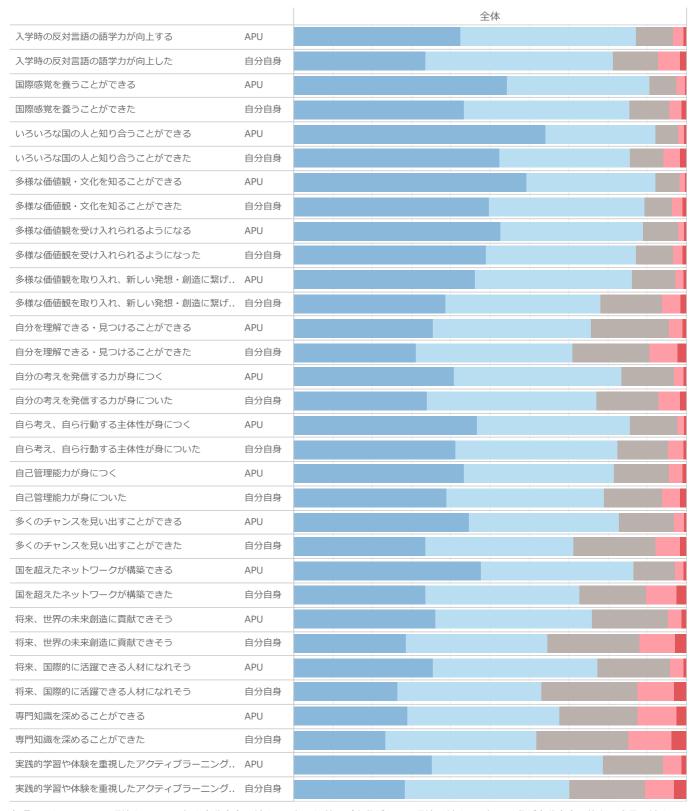
いずれの質問に対しても「できているか」という問いに対して肯定的に答える学生が回生の進行とともに増加している

APUの環境に対する評価と自分自身への評価の比較

APU:APUの環境について、あてはまるものを選択してください。 あなたができている、できていないに関わらず答えてください。

自分自身:APUでの学生生活を通じて、現在、あなた自身は以下のことをどの程度できていると思いますか?

集計カテゴリ 全体

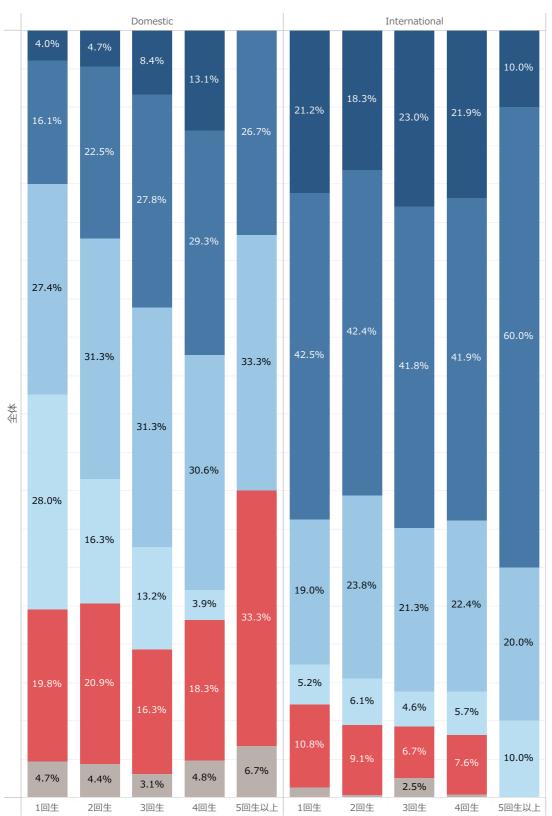


各項目においてAPUの環境としての評価と自分自身に対する評価の比較。(上段がAPUの環境に対する評価、下段が自分自身の能力、成長に対する評価。)多文化環境を活かした多様な文化や価値観の許容、理解は環境および自身への評価も高いが、自己表現、発信力に対する評価はやや下がる。専門知識の深化は環境および自身への評価の両方においてもっとも低い項目となっている

異文化交流の機会

APUは常時、75~85カ国・地域の学生を受け入れています。 通常は講義だけでなく、イベントやサークル活動で国際交流する機会がたくさんあります。

学生から見て、多様な国際・異文化交流をする機会が足りていると感じますか?



交流の機会に満足している学生は回生が上がるにつれ上昇しているが、最も多い4回生においても52.6%に留まる。「期待したほどではない」と回答した学生がどの回生にも24%~26%程度いる。1回生(2020年度入学)は17.8%が足りないと回答している。国内学生と国際学生では交流の機会の満足度に大きな差があり、国内学生の不満足層は国際学生よりも多く、また交流機会を活かせていないと感じるが学生が多い。

集計カテゴリ大

全体

学部別

国内国際別

集計カテゴリ

全体 学部別 国内国際別

回答文

a. 期待した以上に感じ..

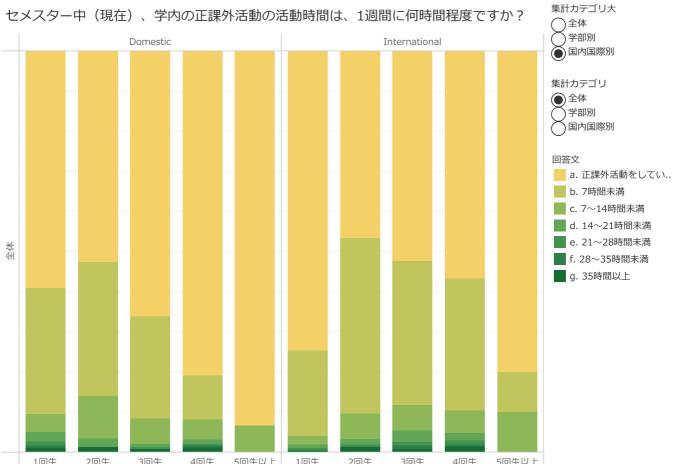
b. 期待通り

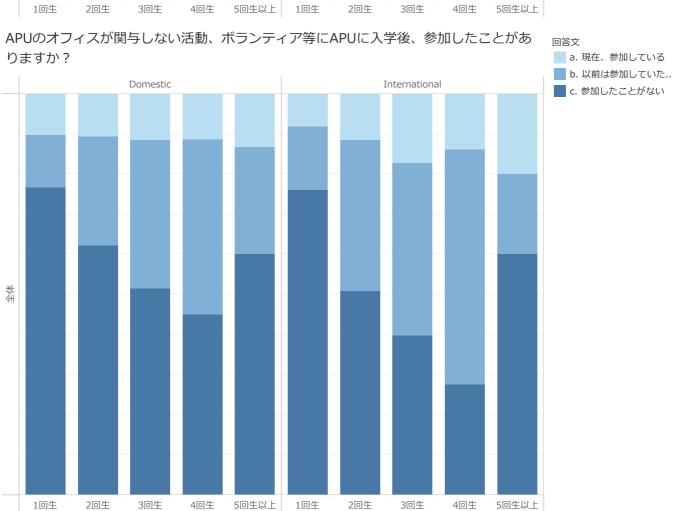
c. 期待していたほどで..

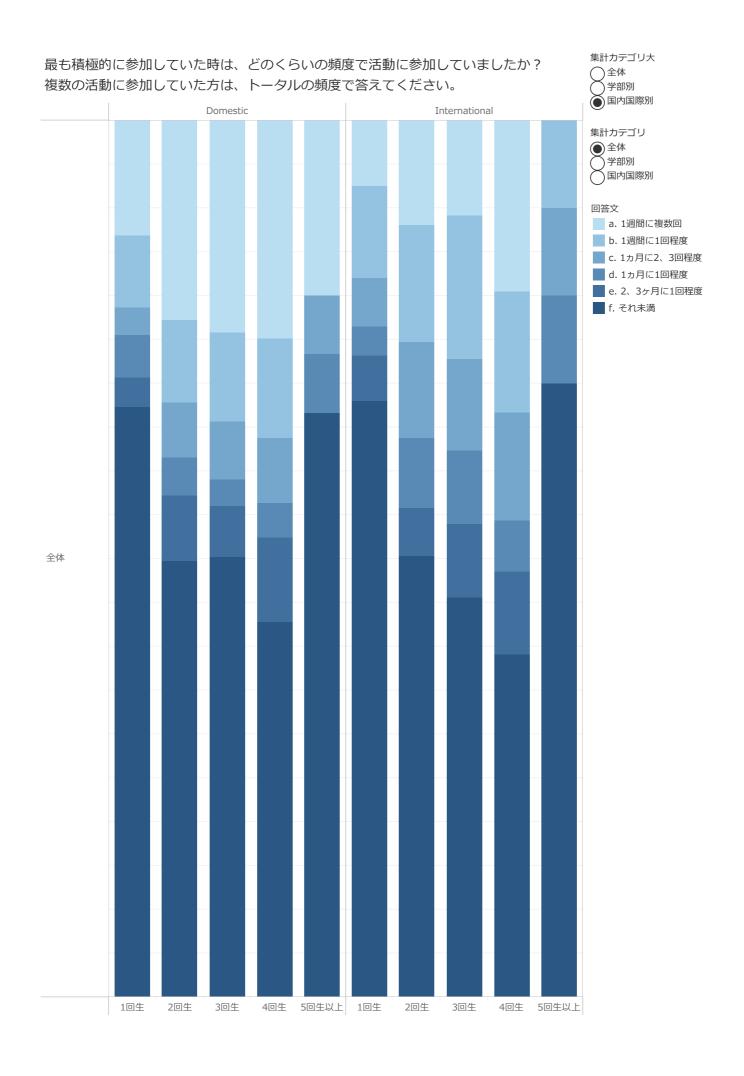
d. 足りない

e. 機会があっても活か..

f. そもそも国際交流する..

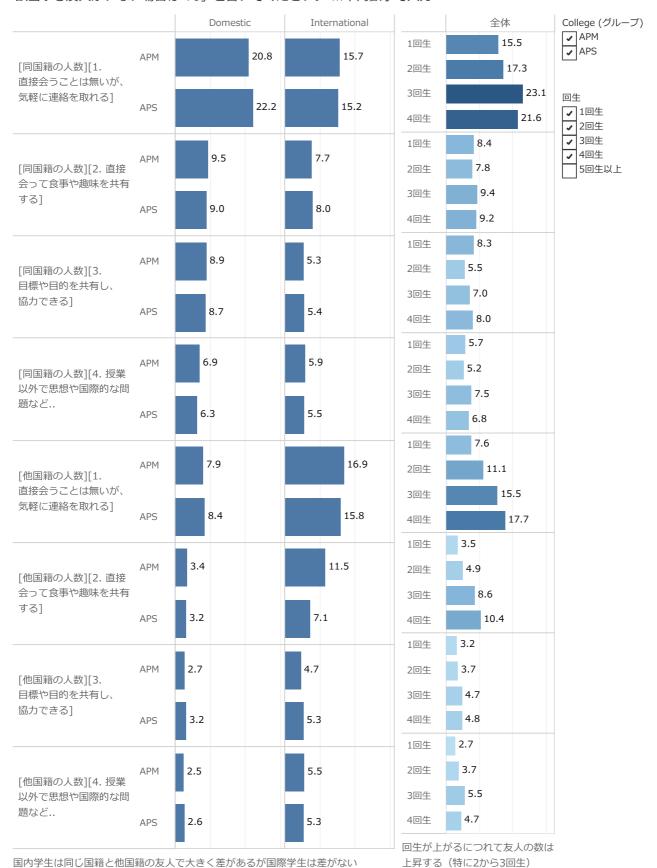




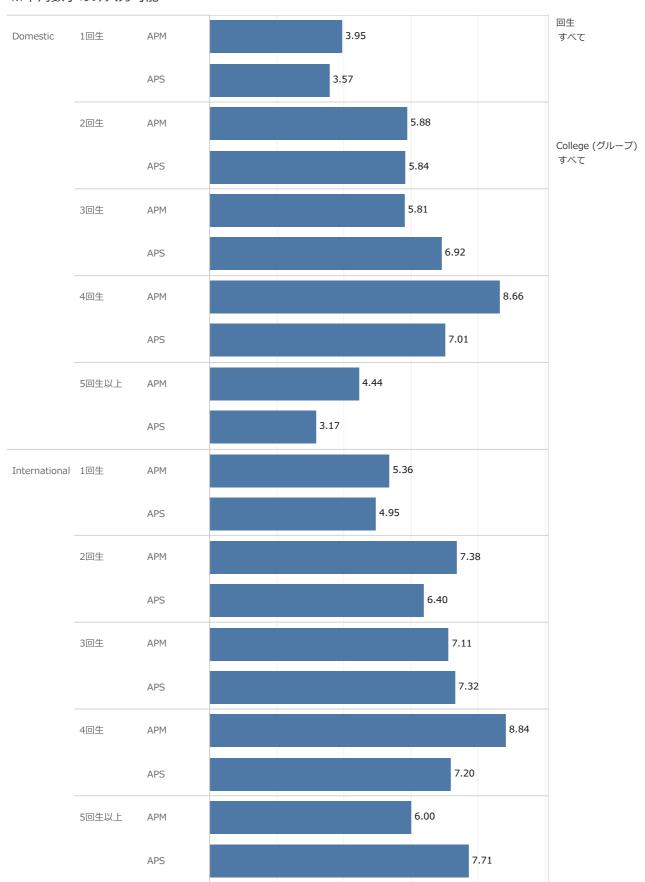


国籍が同じ友人の数、国籍が違う友人の数(平均)

学内、学外、年齢差を問わず、日常的に関わりがある友人について答えてください。 以下の関係にある友人が何人いるか、友人の国籍別に大体の人数を答えてください。 1人の友人が様々な関係に該当する場合は、いずれの関係においても人数に含めてください。 該当する友人がいない場合は「0」と書いてください。 ※半角数字で入力



国籍が違う友人の数(平均)(回生別) 他国籍の友人がいる場合、いくつの国・地域の出身か、大体の総数を書いてください。 ※半角数字のみ入力可能

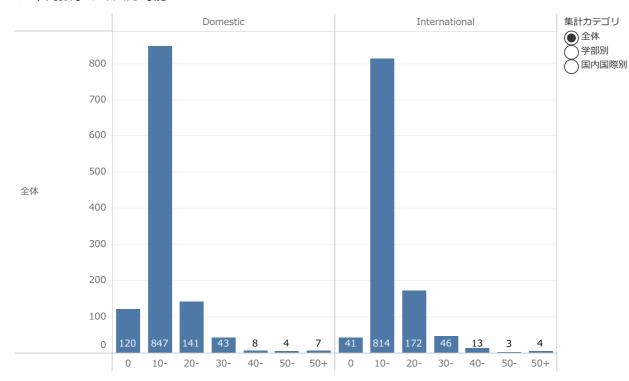


国内学生は5回生以上になると国籍の違う友人が大幅に減少する。

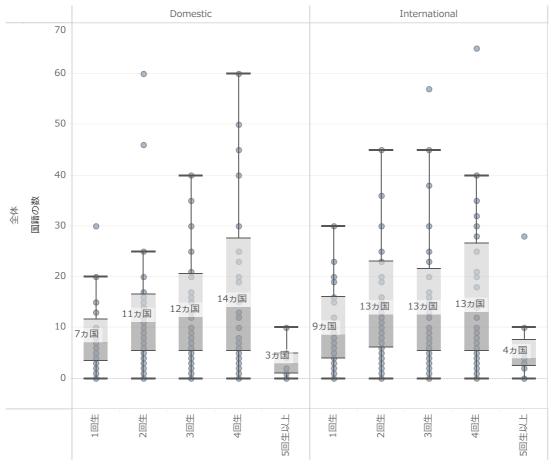
国籍の違う友人の出身国の数(実数)

他国籍の友人がいる場合、いくつの国・地域の出身か、大体の総数を書いてください。 ※半角数字のみ入力可能

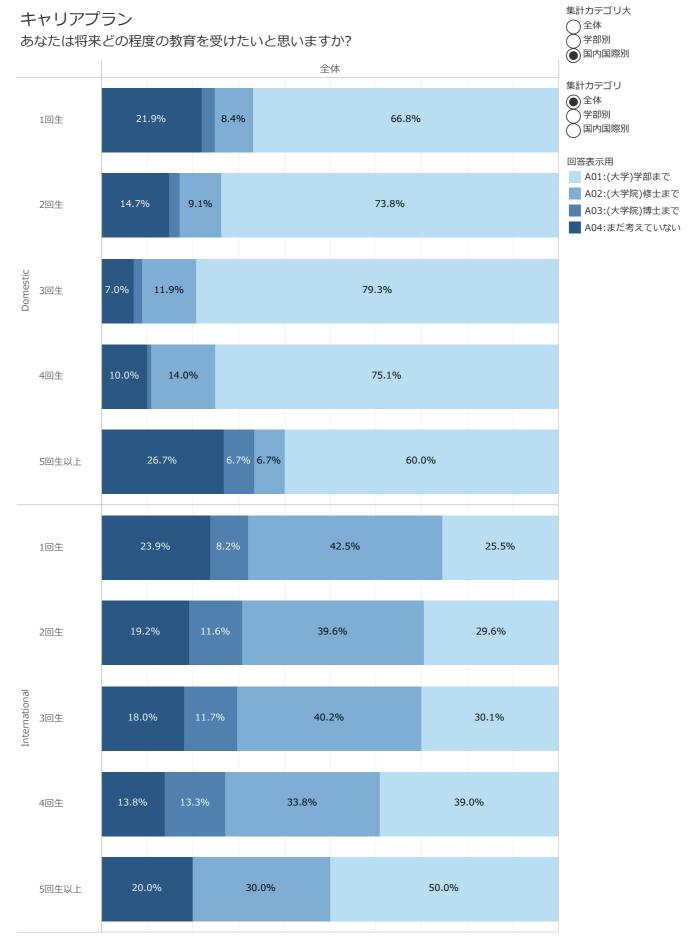




国籍の違う友人の出身国の数(中央値)



国籍の違う友人の出身国数の中央値は卒業時が最も多い。ただし、回答者が国籍の数ではなく、友人の数と解釈して回答している可能性がある(回答の最大値は100ヵ国。視覚化のため縦軸を調整している。)



国際学生はすべての回生において、大学院進学を希望している学生が「学部卒業まで」と答えた学生よりも多い。それに対して国内学生すべての回生において「学部卒業まで」、と答えた学生が $67\%\sim75\%$ を占める。

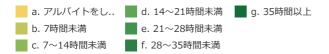
集計カテゴリ大 卒業後の将来について、やりたいことや仕事内容などがどの程度イメージ 全体学部別国内国際別 ができていますか? 全体 集計カテゴリ 全体学部別国内国際別 1回生 9.8% 19.5% 10.0% 回答文 a. やりたいことと、そ.. b. プロセスは曖昧だが.. c. 曖昧ではあるが、や.. 8.4% 2回生 16.9% 11.6% d. やりたいことがあま.. e. やりたいことが全く.. 3回生 13.2% 22.5% 19.4% 4回生 23.1% 31.0% 6.7% 33.3% 13.3% 5回生以上 1回生 13.1% 22.5% 14.7% 2回生 11.9% 25.6% 16.2% International 3回生 9.6% 25.9% 19.7% 10.0% 30.5% 22.9% 4回生

30.0%

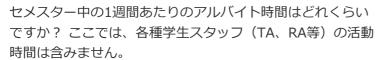
30.0%

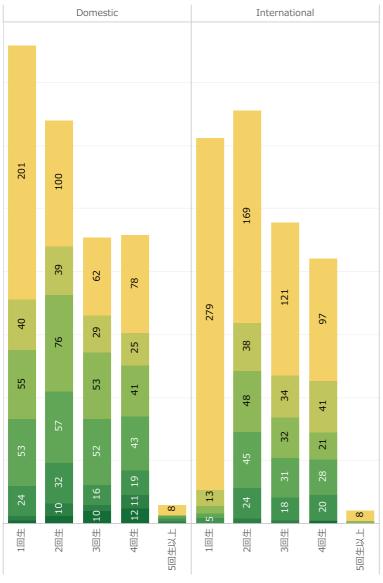
5回生以上

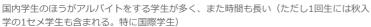
20.0%



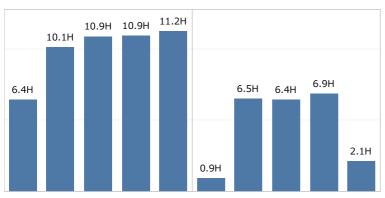
アルバイトをする目的は何ですか?

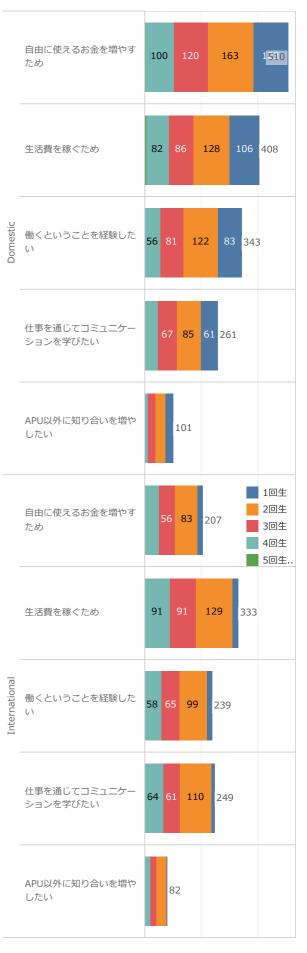






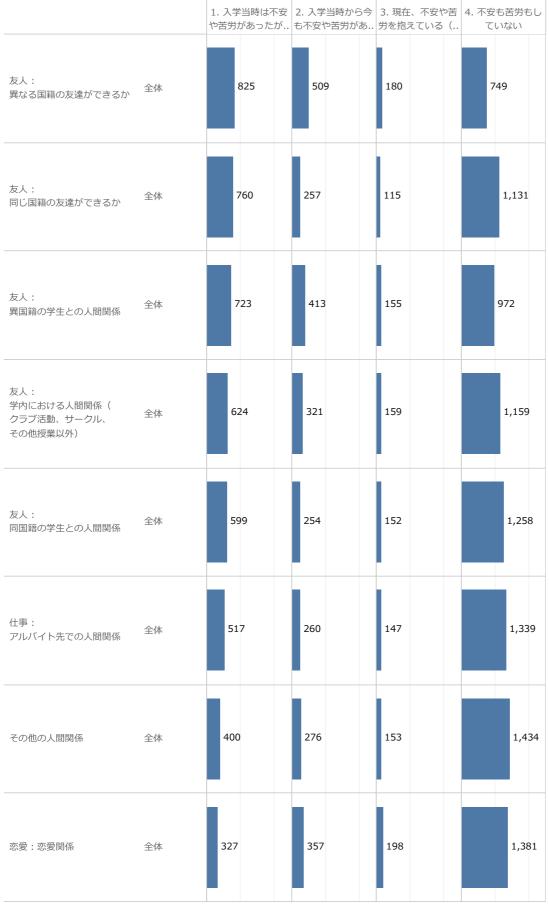
アルバイト時間

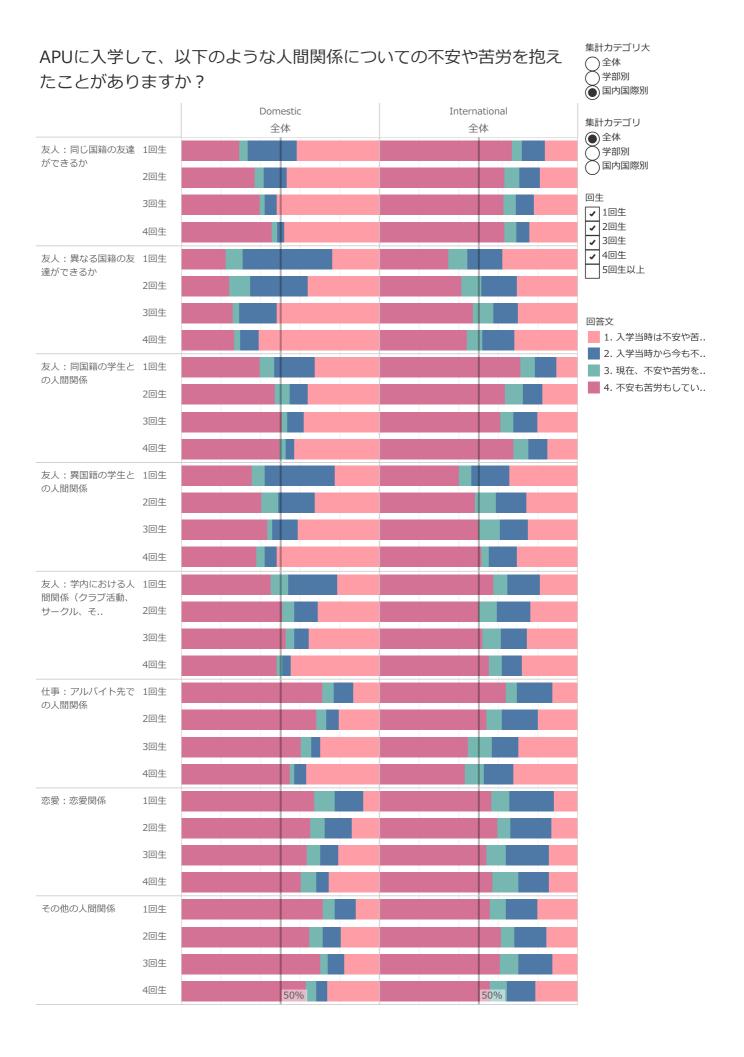




APUに入学して、以下のような人間関係についての不安や苦労を抱えたことがありますか?

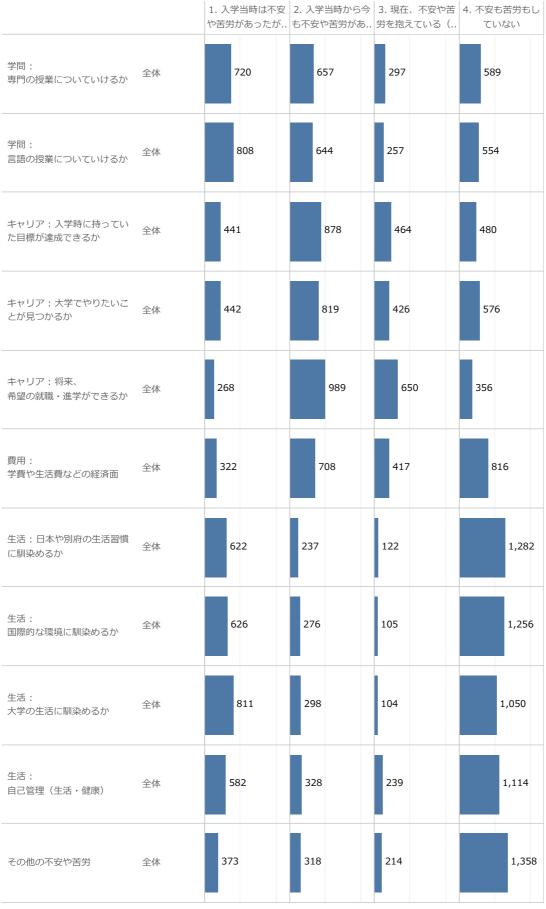






APUに入学して、以下のような不安や苦労を抱えたことがありますか?





集計カテゴリ大 APUに入学して、以下のような不安や苦労を抱えたことがありますか 全体 く学部別 学部別国内国際別 ? Domestic International 集計カテゴリ 全体 全体 全体 学問:専門の授業につ 1回生 〉 学部別 いていけるか 2回生 **S**国内国際別 3回生 回生 4回生 ✔ 1回生 学問:言語の授業につ 1回生 ✔ 2回生 いていけるか 2回生 ✓ 3回生 4回生 3回生 1 5回生以上 4回生 キャリア: 入学時に持 1回生 っていた目標が達成で 2回生 きるか 回答文 3回生 4. 不安も苦労もしてい.. 4回生 1. 入学当時は不安や苦.. キャリア:大学でやり 1回生 2. 入学当時から今も不.. たいことが見つかるか 2回生 3. 現在、不安や苦労を.. 3回生 4回生 キャリア:将来、 1回生 希望の就職・ 2回生 進学ができるか 3回生 4回生 費用:学費や生活費な 1回生 どの経済面 2回生 3回生 4回生 生活:日本や別府の生 1回生 活習慣に馴染めるか 2回生 3回生 4回生 生活:国際的な環境に 1回生 馴染めるか 2回生 3回生 4回生 生活:大学の生活に馴 1回生 染めるか 2回生 3回生 4回生 生活:自己管理(1回生 生活・健康) 2回生 3回生 4回生 その他の不安や苦労 1回生 2回牛 3回生 4回生

キャリア・進路に対する不安が最も強く、次いで経済面が続く。学習面、生活面に対する不安は低い。ほとんどの不安要因は回生が進につれて解消傾向がみられるが、キャリア・進路は3回生にかけて上昇する。(4回生になると下がる)

0

現在の住まいとして当てはまるものを選んでください シェアハウスにはどういう人が住んでいますか?

